

情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会
CISPR F 作業班 (第 12 回) 議事要旨 (案)

- 1 開催日時：平成 27 年 7 月 7 日 (火) 14 時 00 分～16 時 00 分
- 2 開催場所：金融庁 9 階 904 会議室
- 3 出席者 (順不同)

【構成員】山下主任 (JET)、平伴主任代理 (パナソニック)、井上構成員 (KEC)、大嶋構成員 (NHK)、梶原構成員 (JQA)、菅野構成員 (NTT)、橘高構成員 (ARIB)、業天構成員 (パナソニック)、高岡構成員 (日本配線システム工業会)、中野構成員 (JEMA)、前川構成員 (ダイキン)、三塚構成員 (TELEC)

【事務局】澤邊電波利用環境専門官、川口電波監視官、野村電磁障害係長、小栗官

4 議事概要

(1) 前回の議事要旨について、修正意見があれば、1 週間以内に事務局まで連絡することで承認された。〈資料 12-1〉

(2) CISPR ストレージ会議 SC-F_対処方針 (案)、CISPR ストレージ会議 SC-F_WG1_対処方針 (案) 及び CISPR ストレージ会議 SC-F_WG2_対処方針 (案) について報告が行われた。〈資料 12-2-1~3〉

以上の報告を受けて、質疑応答が行われた。質疑応答におけるポイントは以下のとおり。

- ・資料 12-2-1 における対処方針の欄が文書番号のみであり、電波利用環境委員会の構成員には理解が困難であるため、現在の検討状況等の詳細な情報を追記すべきである。
⇒具体的な検討状況等を追記し、後日メールにて再度審議することとする。
- ・SC/F はワイヤレス電力電送システムについて注目されているが、議論が行われる予定はあるのか。
⇒ワイヤレス電力伝送システムについては注目はされているものの、SC/F の所管である家電用の製品については具体的な情報が少ない。一方で、規格の審議は円滑に進められており、特段集中して議論する必要な事項が少ないものと思われる。

(3) 電波利用環境委員会報告書 (案) について説明が行われ、特段の異議なく承認された。
〈資料 12-3-1、資料 12-3-2〉

- ・資料 12-3-1 では「IH 式調理器を拡張し」と記載されており、他方、資料 12-3-2 では「IH 式調理器の規格を拡張し」と記載されているが。
⇒規格を拡張したのではなく、IH 式調理器の定義を IPT 機器に拡張しているということが正しい。

(4) CISPR ストレージ会議 SC/F 関連会議参加者（案）について、山下主任から説明があり、特段の異議なく承認された。＜資料 12-4＞

(5) 本作業班の議論を踏まえた資料の修正期限は、本日から 1 週間を目途に事務局宛てに送付することとなり、本日の審議結果をもとに、8 月 24 日の電波利用環境委員会において山下主任が CISPR ストレージ会議の SC/F の対処方針（案）を報告することとなった。

また、次回の作業班の開催については、開催が決まり次第、構成員宛てに連絡することとなった。